



議会だより

なよろ



33
No.

2014 . 8 . 1 発行



夏の訪れを彩るラベンダーが咲き誇り、登下校の児童や市民を香りとともに和ませてくれます。(東小学校校庭)

第2回定例会

定例会、臨時会で決まったこと	2
議会改革	3
議決結果・可決された意見書	4
代表質問に3人・議員協議会・審議日程・議会日誌	5 ~ 7
一般質問に9人	8 ~ 12
各委員会活動報告	13
政務活動報告	14 ~ 15
きぼう・議会スナップ・編集後記	16

平成26年 第2回定例会 6月6日～6月20日

3億9141万9千円の追加補正を可決
 ↳政策予算で一般会計224億8761万7千円に

平成26年第2回定例会は6月6日に開会し、6月20日までの15日間を会期とし、20件の議案について審議しました。会議初日には加藤市長より市政執行方針、小野教育長から教育行政執行方針が述べられ、17日には市政運営などに3会派からの代表質問、18日から9人が一般質問に立ちました。議案審議では条例の改正・制定等が7件、補正予算案3件、その他10件、意見書案8件を審議し、いずれも提案どおり可決、承認しました。この中で、議員定数は次期一般選挙より18人(2名減)とする名寄市議会議員定数条例の一部改正が可決されています。

条例の改正等

名寄市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正
 子育て支援の名寄市独自策で、子育て世代の経済的負担の軽減と子どもの健全な育成を図るものです。

名寄市企業立地促進条例の一部改正
 本条例の対象となる工場や施設等の新たな拡大を図り、助成要件を変更することで、地域経済の活性化を図るものです。

生きがいホビーセンター条例の廃止
 現在、開講している講座の

移転先が決まり、利用者の了解を得られたことから、本条例を廃止し、老朽化した施設を解体するものです。



生きがいホビーセンター

主な補正予算

乳幼児等医療給付事業

就学前児童の入院・通院費用を無料とし、小学生についても入院費用を無料にしようとするもので、820万円を追加しました。

ひと・ほし・環境にやさしい灯り事業
 現在使用している夜間照明器具の白熱球・水銀灯を、長寿命で電気料の安価なLED照明に切り替える事業で、3003万円を追加しました。

徳田地区流域防災事業
 豊栄川流域を中心に排水整備を実施し、防災対策を図るため、3300万円を追加しました。

(仮称)市民ホール整備事業
 音響、照明機器の購入に加え、フルコンサート仕様のピアノを購入するため、862万2千800円を追加しました。

中学校維持管理事業
 名寄中学校、名寄東中学校の耐震診断を実施するため2450万円を追加しました。

南児童クラブ整備事業
 南小学校改築に伴い、児童クラブを建設するための実施設計委託料として、800万円を追加しました。

人事案件
 人権擁護委員の推薦に同意
 長谷川 良雄氏(再任)
 名寄市西2条南6丁目25

臨時会(5月12日)

議案審議では条例の一部改正案5件、劣化した学校給食センター蒸気冷却機更新に伴う2900万円の追加補正案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、次の人事案件について同意しました。

人事案件
 副市長の選任に同意。
 久保 和幸氏(再任)
 名寄市風連町西町169
 教育委員会委員の任命に同意。

梅野 博氏(再任)
 名寄市西1条北1丁目9

小野 浩一氏(再任)
 名寄市西10条南10丁目53
 監査委員の選任に同意。

上田 盛一氏(新任)
 名寄市大通南3丁目2
 名寄市外2組合公平委員会委員の選任に同意。

間所 勝氏(新任)
 名寄市西13条南10丁目54
 古瀬登美子氏(再任)
 名寄市風連町字瑞生2510
 秋葉 幸司氏(再任)
 名寄市西2条北2丁目2

・・・議会改革・・・

議員定数について



市議会議長
黒井 徹

昨年、6月に「議会運営委員会」に議会改革について協議することを諮問させていただきました。大きくは、議員が長期にわたり欠席、もしくは活動ができないときの報酬を削減する条例と、次期改選に向けての定数についてであります。

私は、就任時から議会改革の歩みを止めることなく市民目線で進めると申しており、現状に満足することなくしっかりと検証していただくようお願いしました。委員会には熱心に協議をして頂いたことに感謝を申し上げますが、私が考えていた第一回定例会での提案ができませんでした。また、市民説明会には統一した結論でご理解をしていただく予定でありましたが、現状の20名と2名削減の18名の両論を説明させていただいた

ころ、市民の意見は議会、議員の活動が見えないのが問題であり、市民の負託にしっかりとこたえることが重要とのご意見でありました。最終判断は議長に任せられ、結論は議会基本条例第17条を根拠として18名とすることで理解をしていただき、本議会で議決いたしました。市民に見える議会活動をめざして、さらなる改革を委員会にお願をしたところですが、定数削減が市民の不利にならないように精進してまいりますので、市民の皆様にはご理解をお願いいたします。



市民説明会（よろーな会場にて）

議会改革を積極協議

「議会の見える化」実現へ

名寄市議会基本条例第7章第13条では、「議会は、議会改革に継続的に取り組むため、議会運営委員会において、議会の公正性、透明性、市民に開かれた議会等について常に議論を深めるものとする」と定めています。

同条に基づき、議会運営委員会ではさまざまな機会に議会改革について協議を進めてきましたが、昨年の議会報告会において市民の皆さんから議会へ新たな問題が提起されたこともあり、黒井議長は昨年6月に、長期欠席議員の取り扱い、議案等の賛否公表、議会改革（通年議会、議会発言方法）議員定数及び報酬のあり方等について議会運営委員会に諮問しました。

この結果、第2回定例会で定数を2名削減の18名とすることをはじめ、各種改革方針を決め、今後も改革議論を進めることを確認しました。

・・・長期欠席議員の取り扱いでは、条例を制定して報酬を減額することにしました・・・

名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例（抜粋）

第5条 議会活動ができない期間の議員報酬は、条例第2条の規定にかかわらず、議会活動ができない期間に応じて、次の表に定める割合を条例第2条の規定による議員報酬の月額に乗じて得た額とする。

議員活動ができない期間	割合
90日以上180日未満であるとき	100分の80
180日以上365日未満であるとき	100分の70
365日以上	100分の50

第7条 6月1日及び12月1日（以下、これらの日を「基準日」という。）のそれぞれ前6箇月以内の期間において、適用月があるときの期末手当の額は、条例で定める議員報酬の額に乗じる割合に、第5条第1項の表に定める割合を乗じて得た額とする。

今でしよう憲法の出番



市民連合・凜風会

熊谷吉正議員

市政の基本姿勢と主な課題

問 超少子高齢化と将来人口問題及び財政展望は。苦言、諫言に耳を傾ける市政のあり方。集团的自衛権行使問題と自衛隊員、家族の不安や影響は。

答 人口減少は税収減等大きな課題なので、子育て支援、農林業の担い手や地場産業の育成、財産を活かした交流人口拡大を図る。総合計画の着実な実施と市民の批判も受けとめ公平公正な市政執行に努める。集团的自衛権問題は国民に対する丁寧な説明と国政の場で十分に議論すべきだ。財政では合併自治体の交付税減額見直しを見極めたい。

問 保険福祉医療行政について 子ども医療費無料化の

政策背景は。5つの計画を束ねる地域福祉計画と国の制度変更にかかわる影響と、市民意見反映を。市立病院の経営状況と今後の見通しは。生活保護充実と生活困窮者支援法による取り組みは。

答 子ども医療費支援拡充は8月から就学前が完全無料、小学生は入院無料化を実施し小児科24時間体制確保等総合的に支援したい。介護保険計画、障がい者計画、次世代支援計画等の更新期なので国の動き、計画の検証と市民の声の反映に努力する。市立病院決算の厳しさを踏まえ、地域包括ケア病棟の準備や収益増加、費用削減に勤め経営改善に努める。生活困窮者対策では住居確保、就労支援、生活

支援事業などに取り組む。経済建設行政について

問 低炭素まちづくり計画の当面の効果は。中小企業振興条例改正の主な目的と情勢に即応する企業、労働者支援を。

答 計画策定効果は市民ホール、コミュニティバス運行事業等交付金嵩上げ5%引上げ。条例改正では新たな起業、新分野の進出等将来見据えた制度にしたい。有効求人倍率は向上したが、若者の定着率低下、人材確保等課題もある。労働実態調査を実施し生かしていく。

他の質問・学校教育、社会教育、市立大学の諸課題



若者や子どもたちにもっと支援を！

議員協議会(6月6日)

本会議終了後に開催された議員協議会では、名寄市土地開発公社、名寄振興公社、名寄市社会福祉事業団の経営状況の報告、平成26年度各会計補正予算と名寄大学短期大学部の4年制化と保健福祉学科の再編強化の説明を受けました。

名寄振興公社の経営改善計画や事業団の利用者処遇改善計画などに質疑応答があり、名寄大学の新学科構想では青木学長から28年4月開設を目標とした社会保育学科と保健福祉学部強化計画が示されました。



慎重な質疑が行われた議員協議会

代表質問

健康寿命の延伸を



市政クラブ

東 千 春 議員

問 (仮称)市民ホールについて

ホールが市民に果たす役割と有効利用、近隣ホールとの連携協力や組織体制は。

答 文化芸術を中心とした新たなコミュニティの形成と共に、社会的排除なく劇場等に足を運ぶことのできない市民の鑑賞など、アウトリーチも取り組みたい。現在、民間団体が地域内で活動する例があるが、ホールの事業展開でも土別地区を含めて情報交換を図りながら進める。組織として、文化振興室は他のかね合いから精査・検討する。総合プロデューサー職に内部・外部両面から人選をすすめる。エフエムなよるには音楽・照明・舞台機構・広報・営業・サポート組織管理を考えて契

約を10月に予定し、調整を密に進めたい。小ホールとの設備ではホールとの一部共用、市民会館機材の利用など数年間かけた対応を考える。

問 大学とまちづくり

大学の地域貢献とさらなる市民との交流や新大学図書館の利用について。

答 地域交流センターが窓口となり交流している。特別支援教育に関する免許取得の支援を行っている。(仮称)市民ホールでの社会包摂の考えに伴う取り組みは研究領域に深く関わり今後検討する。大学図書館では、オープンスペースグループ学習、プレゼンルームなど学習環境と共に地域連携を進めるための共同利用施設や300席を備えた

講堂も文化的利用も可能。事業費は備品を含め約27億円を見込む。

福祉政策の推進は

問 いきいき100歳体操などの具体的な取り組みと保育施設の将来像について

答 健康運動教室は地域包括支援センターの介護予防事業活動と横断的連携を図りながら指導者の育成など継続したものとなるよう推進したい。名寄市幼児教育、保育連絡協議会を設置し、一元化した組織の中で情報を共有し、民間と行政の連携を深めたい。

他の質問・基本政策・インフラ整備・市内経済について



完成が待たれる EN-RAY

審議日程

6月6日(金)

- ・開会
- ・市政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・議案等審議
- ・議員協議会

6月9日(月)

各会派幹事長会議

6月16日(月)

各会派幹事長会議

6月17日(火)

- ・代表質問(3会派)
- ・議会運営委員会

6月18日(水)

- ・一般質問(5名)

6月19日(木)

- ・一般質問(4名)
- ・各会派代表者会議
- ・議会運営委員会

6月20日(金)

- ・議案等審議
- ・意見書案
- ・閉会

アウトリーチ：芸術に接する機会がない人々に関心を持たせるため、芸術家や企画者側から働きかける活動。

市民が主役のまちづくりを



新緑風会

大石 健 二議員

学校給食費を公会計に

問 市の学校給食事業は、学校ごとの私会計と名寄市の公会計の2層構造で運営が行われている。会計の一元化で、年額約1億1000万円にも上る給食費の取り扱いの明確化と透明性を高める点や事務負担の軽減や教育時間の確保が図れると指摘されている。公会計への一元化に向けての取り組みは。

答 公会計化により明確かつ透明性を高めることになる。また、給食センターの事務負担の軽減や学校現場の給食業務の軽減も図れる。今後、給食費徴収費用や滞納分の徴収方法などの諸課題の調査研究を行う。

低調な意見公募対策は

問 市民の声を市の重要な政策決定の過程に反映して、市民と協働のまちづくりを推進するパブリック・コメント（意見公募）がスタートして3年目を迎えたが、依然として低調に推移している。課題解決に向けた対策は。

答 資料閲覧力所を3カ所から10カ所に拡大、新聞ラジオの媒体活用で市民周知を図ってきた。応募意見数からも制度の活用が必ずしも十分でない。ご指摘の市民協議会や公聴会、説明会などの手法も検討および活用しながら市民参加の推進に努める。

日進地区再整備の今後は

問 名寄日進地区の課題解決に向けて昨年、市役所内に

専門の民間業者を加えた「日進地区再整備基本構想検討委員会」を設置して、日進地区再整備事業に着手している。ピアシリ温泉やスキー場等の諸施設・設備等の拡充と再構築を見据えた検討委員会のこれまでの協議経過と再整備事業の概要は。

答 当初の計画よりも遅れたが基本構想案がまとまった今年度は、市民の意見を聞く機会を設け、老朽施設の改修・更新や新たなニーズに応じた新規施設の整備などハード、ソフト両面の魅力を取りまとめ構想案を策定していく。



公会計化の一元化が望まれる給食センター

議会日誌 4~6月

4/8	各会派代表者会議	5/12	議会改革市民説明会	5/30	各会派代表者会議
4/15	議会運営委員会	5/13	議会改革市民説明会	6/3	議会運営委員会
4/22	議会運営委員会	5/19	経済建設常任委員会	6/17	議会運営委員会
5/1	議会運営委員会	5/20	市民福祉常任委員会	6/19	議会運営委員会
5/8	各会派代表者会議	5/20	和歌山県御坊市行政視察	6/19	各会派代表者会議
5/9	議会運営委員会	5/21	総務文教常任委員会	6/25	埼玉県春日部市行政視察
5/12	平成26年第2回臨時会	5/22	議会運営委員会	6/25	宮崎県都城市行政視察

一般質問



市病前の信号機改善を

公明 高橋 伸 典 議員

交通弱者を守れ

問 市立総合病院の手押し信号が時間内に高齢者や障がい者、子どもが渡り切れなく危ない。安全上、設定時間の変更を。

答 交通弱者用ボタンを押ししても高齢者や障がい者、子どもなどが青信号の内に横断歩道を渡り切れない交通弱者と言われる方々が交通事故に巻き込まれないため、可能な対応を図る。当横断歩道の通行状況の実態を調査し、信号機の適正な表示時間の設定について公安委員会に要請をし、歩行者の安全確保に努める。

クラウドファンディングを

問 今後、税金に頼らない施策や自治体の予算確保のため賛同するアイディアやプロジェクトに対して誰でも簡単に寄付を行える新たな手法のクラウドファンディングの活用を。

答 ふるさと納税は平成20



交通弱者を守れ

年から25年まで114件約677万円となっている。今年度から「名寄市ふるさと応援寄附記念贈呈事業」を実施し、現在130件460万円の実績。人口減少などで税収が伸び悩む中で、この手法は税金に頼らず資金を集めることが可能であり、必要な施策の実施のため有効と考えるが、ふるさと納税にかかわる寄付者への記念品贈呈事業の推進を図り、クラウドファンディングは、活用や成功事例など研究していく。

他の質問・ピロリ菌の助成を・LED購入助成・南広場活用



女性や子どもへの支援を

日本共産党 川村 幸 栄 議員

母子家庭への支援を

問 さらなる支援では、学童保育所の充実、就学援助、生活保護や就労支援の充実などが必要では。また、DVやセクハラなどの暴力から守る支援も必要。市長の考えは。

答 こども未来課に「母子自立支援員」を配置し、母子家庭の様々な相談窓口として利用していただいている。生活面や子どもの進学への不安、DVの相談、金銭的な相談では無利子の貸付業務の相談窓口にもなっている。学童保育所は親の働き方の変化により希望が増えることが予想される。学校区ごとの設置等適正配置などのサービス内容の検討を進めている。

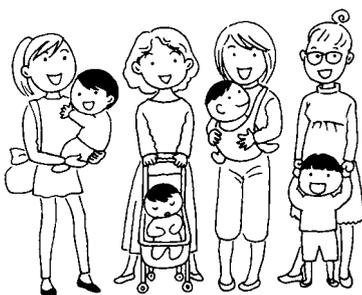
学生生活を守るために

問 学生アルバイトにも若者を「使いつぶす」ブラック企業のような違法・無法な働き方が広がっている。大学として相談窓口の充実、商工

団体や自治体として、学生生活を守る取り組みが求められるが。

答 2009年に行った学生実態調査では72%がアルバイトを経験。トラブルの相談も受けている。大学では違法性などの基準を定め求人情報を提供。引き続き学生生活の相談を充実させ、サポートを行う。働き方の調査も行う方向で検討したい。

他の質問・「医療・介護総合法」から高齢者とその家族を守る取り組みを・南相馬市への支援事業について



誰もが安心して子育てできる街づくりを

一般質問



認知症対策を本年度中に

新緑風会 山口 祐 司 議員

多職種共同研修を開催

問 認知症高齢者に対してのサポート体制の現状と関係機関との連携体制のありかたは。

答 名寄市の現状は、平成21年3月末と平成26年3月末とを比較すると、人数で620人が830人へと認知症高齢者は増加している状況にある。本市では、認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境の中で暮らし続けることができよう、医療機関や介護サービス事業所、地域の支援機関を繋ぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置する事業、更には認知症の方のケアに携わる医療介護従事者を対象とした多職種共同研修を開催する等の事業を今年度から開始することとして事業の計画を進めている。

農業委員会選任制度？

問 政府の規制改革会議がまとめた農業委員会の見直しについて名寄市の現状と影響、今後の見通しは。

答 農業委員会は公選制のもと農業者の代表として、地域の信任を得て農地の権利調整に関与し、農地を守る視点から課題の解決を進めてきた。今後とも上部団体等と連携しながら農業者と農業を守る視点に立った取り組みを進める。
他の質問・災害時援護体制について



国の農業改革
農業、農地を守るとは？



豊かな未来のために

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

男女共同参画推進条例

問 名寄市でも少子高齢化が進んでいる。職場・家庭・地域で、男女それぞれの個性と能力が発揮できる、男女共同参画条例の制定を求めます。

答 名寄市では、男女共同参画社会づくりを推進するための計画に基づき、啓発活動の充実や女性委員の参画促進など94事業の推進に取り組んでいます。平成28年度までに委員会・審議会の女性委員数50パーセントをめざすことにしています。男女共同参画推進条例は来年度までには素案をまとめ、市民意見を広く聞いたうえで平成28年4月施行をめざします。

子ども子育てについて

問 子ども子育て会議計画の現状について、また子どもの権利条例制定に向けての考えを伺います。

答 名寄市では妊婦一般検診費用の助成、こんにちは赤

ちゃん訪問を実施し、子育て

の情報提供や相談、市立総合病院産婦人科や小児科の充実、医療費の軽減対策、誕生もち助成事業、待機児童を作らない保育サービスなどの安心安全に努めています。子どもの権利条例については内部で検討しながら、名寄市子ども、子育て支援事業計画を策定し平成27年度から進めていきます。

他の質問・名寄市における雇用状況について



子どもの未来のために

一般質問



スポーツ振興と農業振興

市政クラブ 塩田 昌彦 議員

体育・スポーツの振興

問 スポーツ振興のあるべき姿と合宿の里づくり。

答 市民皆スポーツの普及・推進のため、体育協会や競技団体と連携し、市が主催する憲法ロードレースなど、事業の推進を図って参ります。現在、市が合宿受入庁内検討会議を立ち上げ、名寄市観光交流振興協議会が進める「合宿の里づくり」と連携し官民一体となつて、交流人口の拡大のため協働で取り組んで参ります。

足腰の強い農業行政

問 名寄市農業・農村振興計画（後期実施計画）と「もつと！もち米プロジェクト」の対策を「もち米産地日本一なよろ」に結びつけるのか。

答 後期計画は、TPPの対応や農業者の高齢化、担い手不足が課題となつており、JA生産部会や青年部、女性部等から幅広く意見をいただき



雪室型もち米低温貯蔵施設

より実効性ある内容の計画といたしました。もつと！もち米プロジェクト事業は、もち米日本一のまちとして、もち米の更なる可能性の追求や食文化構築を通して、「もち米日本一なよろ」のブランド化を目指します。本年度は、事業を市内向けと市外向けに分け、周知と知名度を高めます。**他の質問**・室内土間付き施設

の設置・食育推進計画・新名寄市行財政推進計画について

空き地条例制定を



ケア病棟 8月から開始

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

問 来年5月、いよいよ（仮称）市民ホールがオープンするが、児童生徒の徳育、情操教育に生かす取り組みや市民が年1回舞台に立てる条例にすることも必要ではないか。

また、市内の空き地管理が問われてる。不法投棄や雑草除去に特化した条例制定も必要。

答 情操を高める方法については、教育改善プロジェクトの研究グループで調査研究を進めたい。（仮称）市民ホールはコミュニケーション醸成の場とも考えており、市民が利活用しやすいホールとするため今後、しっかり考えてまいりたい。空き地の状況については町内会を通し実態把握を進める。条例制定については、まず先進地を調べるなど調査研究が必要と考える

問 ケア病棟は8月から開始
今年3月末で市立病院



不法投棄や害虫発生が地域で問題となっている

5階病棟を閉科とし、地域包括ケア病棟の新設を目指していたが、現状と今後の見通しは。名寄市立大学は、日本最北の公立大学であり、名寄市もリンゼイやドーリンスクと姉妹友好都市関係にある。国際交流を今後積極的に進めるべきではないか。

答 1カ月の試験的な運用期間が必要のため、開始は8月1日となる。留学生などについて条件整備を検討する時期と考え、今後協議する。

一般質問



担い手を支える施策を

市政クラブ 山田 典 幸 議員

農業振興施策について

問 地域農業の活性化を図る上では、若い担い手をしっかりと支える施策がとりわけ重要であると認識をする。農業青年チャレンジ事業は、事業の本質を改めて見直し、真に必要な担い手が有効に利用できるよう改善すべきと考えるが、見解を伺う。

答 農業青年チャレンジ事業をはじめとする担い手施策の充実のために、農業青年団体との意見交換会を実施し、担い手の方々の率直な意見を聞きながら、改善すべき点は改善し、担い手にとってより良い事業となるよう、また、当市の担い手施策の一層の充実に向けて取組んでいきたい。

観光の振興について

問 当市の知名度向上、地域おこしの一環として「なよろ煮込みジンギスカン」を「当地グルメと位置付けた取組み」がなされているが、より一層



地域の元気は農業の元気から

市民へ浸透させるため、食育や地域の歴史という観点での取組みを行なってはどうか。
答 市内の子どもたちへの食育という観点から、本年7月4日に市内の学校給食に提供する予定である。また今年度は、当市でのジンギスカンのはじまりとされている智恵文地区において、学校での食育の一環として、子どもたちに煮込みジンギスカンについて一層理解を深めてもらう取組みを検討している。



9月に方向性示す

市民連合・凜風会 奥村 英 俊 議員

東地区の学童保育所整備

問 3月議会で表明した学区ごとの学童保育所整備における、協議・検討内容について伺う。また、設置までの送迎等についての対応検討を

答 現在、庁内協議を進め東地区の設置を優先的に検討。検討内容は、学校内で利用可能なスペースがあるか、他自治体の設置・運営状況調査。コロボックルとの協議。設置には大規模改修も考慮し検討する必要がある、設置に向けたスケジュールや運営形態等について、9月をめどに方向性を示したい。また、保育所に通うために踏切などの危険箇所があり、安全に通える方策はコロボックルとも協議。低学年だけでも学校内で受け入れできないか。冬期間バス・ハイヤーの利用等の検討を図る。

問 平和行政の推進について
今年度の取り組みと日



学童保育の整備が待たれる東小学校

本非核宣言自治体協議会への加盟について、また、市長自らの「非核平和都市宣言」「不戦の誓い」について表明することへの考えを伺う
答 新たに名寄市・風連地区及び全国戦没者追悼式の黙とうに合わせて1分間のサイレン吹鳴を実施。日本非核宣言自治体協議会への加盟は活動内容などを調査し判断。市長の表明は広報やホームページを活用して実施を検討する。
他の質問・風連地域の振興と庁舎のあり方について

一般質問



あいさつの街なよろ

市政クラブ 佐々木 寿議員

明るい社会は挨拶から

問 国の「いじめ防止対策推進法」をどの様に参酌したのか。また、近年は命にかかわる重大事件が目につく。要因として地域や家庭でのコミュニケーションの希薄さと思われる。挨拶はコミュニケーションの第一歩だが見解を伺う。

答 このたび「名寄市いじめ防止基本方針」を策定し、重大事態の発生時対応の「名寄市いじめ防止等対策組織および調査組織」も合わせて設置した。具体的な対応策であり、現時点で条例制定は考えていない。また、挨拶は、地域の教育力を高め、子供たちが人を思いやる気持ちを育むために重要であるため、これまで以上に家庭や地域における挨拶の励行をお願いする。

高齢者へのサポート

問 高齢者の虐待防止と被虐待者の状況と対応を伺う

答 この7年間で虐待の事実が21件認められた。虐待の通報があった場合は「名寄市高齢者虐待対応マニュアル」により速やかに事実を確認し、緊急性の場合には虐待者と分離し施設入所や老人福祉法に基づき対応する。また、保健所や警察等とも連携し、被虐待者の秘匿保護等の対応をする。今後とも虐待予防と早期発見に努めていく。

他の質問・公立高等学校配置計画・アレルギー対応・高齢者福祉について



求められる高齢者支援

住民の声で議会の活性化を!!

議会を傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。

◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。

◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は5月21日に開催しました。前半に（仮称）市民ホールと文化センター小ホール工事現場を視察し、工事と運営計画の進捗状況について説明を受けました。後半に各所轄部署から平成26年度の主な事業として教育委員会から学校教育課、指導主事、生涯学習課、名寄市公民館、智恵文公民館、風連公民館、児童センター青少年センター、教育相談センター、北国博物館、図書館、天文台、学校給食センターについて説明を受けました。総務部からは企画課、総務課、行革・職員・研修担当、防災・法制・訟務担当、情報システム担当、財政課から説明を受け、次に名寄市立大学並びに短期大学部から説明を受けて審議しました。



計画通り工事が進む
仮称・市民ホール

市民福祉常任委員会

委員会は、5月20日に開催し、主に市立病院関連では、平成25年決算見込及び診療実績の報告があり、約3億1千万の純損失。旧精神病棟解体工事、駐車場工事、ヘリポート訓練・運用のスケジュール等の報告がありました。市民部関連では、平成25年度市税収納率99.42%で全道1位の報告等がありました。健康福祉部関連では、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時給付金事業、遠距離通園・通所助成事業（3以上の通園通所補助）養育医療給付事業（未熟児対象）、地域活動事業（親子お出かけバスツアー）、こども発達支援事業その他5件の事業報告と生きがいホビーセンター条例の廃止と生きがい講座事業実施要領（案）の説明がされました。



親子お出かけバスツアーでイモほり体験

経済建設常任委員会

委員会を5月19日に開催、議案は、建設水道部 平成26年度主要建設事業 低炭素まちづくり計画 平成25年度除排雪 市道で発生した事故の専決処分概要説明。

経済部 企業立地促進条例の一部改正 木質バイオマス利活用調査報告 平成26年度農林業施策 平成26年度商工労働観光交流施策の概要説明及び4月4日の大雪による農業被害と豚流行性下痢（PED）の発生状況説明。討議項目は、6丁目歩道の老朽化問題、防塵舗装の一定規格の必要性、除排雪で見通しの悪い箇所・児童生徒の通学路の安全対策問題、農業青年アドバイザーの活用法と計画内容、経営所得安定対策で振興作物のJAとの差異について。



安全なまちづくり!!

議会運営委員会

第1回定例会以降8回の委員会を開催しました。協議内容は、5月12日開催の第2回臨時会、6月6日からの第2回定例会の議会運営についてが主でありませんが、この間、議長から諮問された「議員定数のあり方」についても当委員会にて検討を進めてきました。5月9日の委員会では、市長選挙後初の議会となるため、市長の所信表明と10件の議案審議を確認。6月3日は、第2回定例会の会期を6日から20日までの15日間と決め、初日に議案15件、報告12件、諮問1件を審議するとともに、代表質問に3氏、一般質問に9氏の登壇を確認しました。また、17日の委員会では、今年の議会報告会を7月28日から3日間、市内4カ所で開催することを決めました。

なお、最終日に議員提案により「名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」「名寄市議会議員定数条例の一部改正」を提出し、可決しました。

議会各会派の政務活動報告

市民連合・凜風会

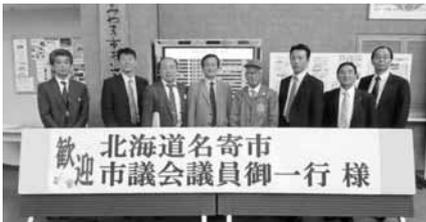
平成25年度は5月と11月に市政報告・意見交換会を開催し、5月には「よろーな」駐車場用地買い戻し、「仮称市民ホール」について、また11月には市内4カ所で会派の活動について報告し、市民のみなさんと意見交換会を行いました。10月には名寄市政への反映を目的に、京都府長岡京市で「市民協働マニュアル」、三重県松阪市で「市民病院の取り組み」、亀山市で「市民生活応援制度」、愛知県岡崎市で「地産地消・食の安心安全の取り組み」、静岡県掛川市で「新ごみ減量化大作戦」について調査研修。また、会派としての条例提案に向けて「男女共同参画推進」公約「条例」について調査・研修を行いました。



11月に開催した
市政報告・意見交換会

市政クラブ

平成25年度は道外、道内各1回視察を行いました。道外視察では、福岡県筑後市、みやま市、熊本県宇城市、長崎県佐世保市、大村市を視察。みやま市においては、あいさつを通じて希薄になりつつあるコミュニケーションの再構築や、子どもたちの規範意識の高まりへとつながっていく「あいさつ日本一宣言都市」としての取り組みについて学びました。道内視察では、土別市、恵庭市、歌志内市、滝川市を視察。土別市では文化振興条例について、歌志内市では廃棄物広域処理について、滝川市では空家の適正管理に関する条例について、それぞれ当市においても課題とされている事項について視察しました。



福岡県みやま市にて

新緑風会

新緑風会の平成25年度政務活動は、本年1月に九州2県3市で視察研修。鹿児島県南九州市では「安心・安全な食の生産供給体制」を、同県指宿市では「PFI方式による道の駅整備事業」を、長崎県長崎市では「特別支援事業」を、それぞれの取り組み状況を学ぶことができました。中でも、長崎市では「障がいをもつ個性として持つ子どもが、年齢と共に成長、発達していくか。そのすべてにわたり、本人の主体性を尊重しつつ、できる援助の形を常に模索しています」と、障がい児支援に注ぐ同市の姿勢がうかがえました。また、農薬散布時に黄色い旗を掲げて飛散防止に努め、安全安心な食の生産供給をブランド化した南九州市の取り組みからも多くを学びました。



担当者の説明に聞き入る

清風クラブ

平成26年2月5日から7日の3日間、横浜と東京都内で政務活動費を活用し2カ所の視察及び1セミナーに参加しました。2月5日の横浜の新聞博物館では、新聞の歴史的役割を再確認するとともに、新聞の取材、編集、製作等を学び今後の議会だよりの編集にしっかりと生かしていきたいと思えます。2月6日の横浜郊外の耐火木造大規模商業施設「サウスウッド」では力ラ松耐火集成材（燃エンウッド）を利用した新しい環境に優しい、まちづくりを勉強できました。2月7日の東京紀尾井フォーラムにて、信頼される議会と題した2014地方議員フォーラムに参加し、住民参加の促進と政策提言の重要性を再認識できました。



耐火集成材「燃エンウッド」

議会各会派の政務活動報告

日本共産党

公明

福島第一原発事故後、国民の約8割が「脱原発」の意思を表明し、再生可能エネルギーへの関心は高まっています。そこで8月21日に自治体と森林組合などが協力して木質バイオマス燃料の付加価値を高め、事業展開している南富良野町を視察しました。

今まで捨てられていた林地残材をピンチップとし、その含水率を下げるために雪氷乾燥システムを確立し、全国的にも注目を集めています。名寄市でも参考にできる部分が多いと思います。一般質問で取り上げ提案しました。

10月10日には、上川・留萌管内女性議員研修会に参加し、男女共同参画事業にかかわって近隣市町村の例から研鑽を深めました。



南富良野町自然エネルギー活用用のピンチップ乾燥施設にて

自らの資質の向上を図りながら地域や国の課題や政策を全道のネットワークで創造し、新しい政治文化づくりをめざす自治体首長・道議会議員・市町村議会議員・道市町村職員・民間企業家66名の勉強会「グリーンシード21」に参加し、「エリアマネジメントの可能性」と「議員による条例立案・実態と提案のポイント」と「議会と議員のあるべき姿」の講演に出席。

3月17日ふつれん地域交流センターで市政報告会を行い、33名の参加者に一般質問の要旨・名寄市の現在の状況・文化センター建設・名寄市立病院精神科棟・軽減税率の重要性を説明。冬期の事故対策と国民健康保険・介護保険について質問を受けました。



市政報告会の様子

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付しています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

平成25年度各会派の政務活動費概要報告

	市民連合・凧風会	市政クラブ	新緑風会	清風クラブ	日本共産党	公明	合計
政務活動費交付額	840,000	740,000	240,000	120,000	120,000	120,000	2,180,000
返還（未執行）				24,485	76,662	88,670	189,817
H25年度交付額	840,000	740,000	240,000	95,515	43,338	31,330	1,990,183
支出							
調査研究費	949,862	1,015,710	242,254	0	3,059	0	2,210,885
研修費	0	0	0	95,515	3,159	20,525	119,199
資料作成費	0	0	9,916	0	3,980	0	13,896
資料購入費	0	9,600	6,680	0	29,120	0	45,400
広報費	0	0	0	0	4,020	0	4,020
広聴費	19,014	0	0	0	0	10,805	29,819
事務所費	0	0	0	0	0	0	0
計	968,876	1,025,310	258,850	95,515	43,338	31,330	2,423,219

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

☆ き ぽ う ☆



出 逢 い
名寄市東3条南1丁目 馬場 晶子

私が名寄市に来て11年目を迎えました。振り返るとあつという間ですが、その中でも今年は自分にとって、大きな節目の年になりました。この節目を決断した気持ちの中には、今までのたくさんの出逢いを大切にしたいということが大きかったように思います。

「その時の出逢いが人生を根底から変えることがある良き出逢いを」という相田みつをさんの言葉があります。これまで老若男女いろいろな方との出逢いがありましたが、どれも自分にとってかけがえのない大切な財産だと思っています。

これからも、自分がそう思うように、出逢って良かったと思ってもらえるよう、自分を応援してくれたり支えてくれたりする人がいることに感謝をしながら、名寄ライフを楽しんでいきたいです。



伝統舞踊に魅せられて
名寄市西13条南10丁目 鈴木 笑美

私は趣味で阿波踊りを始めて3年目になりました。現在「風舞連」の連員として11歳になる娘と二人で週1回の風連交流センターでの練習に足しげく通っています。連員は上は、70代から下は就学前の子どもまでの幅広い年齢層で活動していて、色々な世代で共有し合い、互いが良い刺激をもらい合うといったことも魅力のひとつです。去年は初めて「東京高円寺阿波踊り大会」に出場し、百万人の人の波の中で演舞することができ、本場の素晴らしい踊りを観て一瞬で虜になりました。そして何より阿波踊りを通して数えきれないほどの仲間ができたことに感謝しています。これからも練習に励み、地域の皆様に楽しんで頂けるような阿波踊りを伝承していきたいと願っています。

議会スナップ

チャレンジデー (5月28日)

今年で21回目を迎えたチャレンジデーの綱引きに市議会も参加。その健闘ぶりは会場をおおいに沸かせていました。



綱紀肅正の徹底

(典)

議会改革の一環として議論をしてきた議員定数が、次期改選より現行の20名から2名削減の18名とすることに決定致しました。定数削減で議会改革は終わった訳ではなく、今後より一層の議員の資質向上と市民に見える議会活動をめざして、改革の歩みを止めることなく精進して行く所存です。ここ最近、議員としての品位に欠ける言動がマスコミ等で取り上げられています。一部のそうした議員の言動が議会全体の信頼の失墜につながり、本当に残念でなりません。我々名寄市議会は絶対にそのようなことのないように改めて襟を正し、市民の代表の名に恥じない言動をもって信頼される議会、議員でありたいと思います。

編集後記

